

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和3年6月28日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所	愛知県刈谷市朝日町 2 丁目 1 番地
氏 名	株式会社アイシン
	取締役社長 吉田 守孝
電話番号	0566-24-8284
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	株式会社アイシン【刈谷地区】
事業場の所在 地	愛知県刈谷市朝日町 2 丁目 1 番地
計画期 間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	31：輸送用機械器具製造業
②事業の規 模	製造品出荷額 0 円
③従業員 数	3189 人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類：中間処理業者に委託して破碎圧縮成形後 RPF 燃料として再資源化 複合金属屑：中間処理業者に委託して破碎選別後原料として再資源化 ガラス・陶磁器屑：中間処理業者に委託して破碎選別後原料として再資源化 汚泥（社外処理）：中間処理業者に委託して焼却（残渣は路盤材として再資源化） 中間処理業者に委託して乾燥・脱水後セメント原料として再資源化 汚泥（社内処理）：脱水・焼却（社内）後、飛灰は路盤材、燃え殻はセメント原料化 廃油（社外処理）：中間処理業者に委託して油水分離後燃料として再資源化 廃油（社内処理）：濃縮・焼却（社内）後、飛灰は路盤材、燃え殻はセメント原料化 廃酸・廃アルカリ：中間処理業者に委託して焼却後、路盤材として再資源化 木くず：中間処理業者に委託して破碎後燃料として再資源化
-----------------	---

（日本工業規格 A 列 4 番）

（第 2 面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 公害防止統括者（環境部担当役員） 環境管理部署（環境部） 技術開発環境管理統括者（技術管理部長） 技術開発環境管理部署（技術管理部） 各部署環境管理責任者 各部署環境管理推進者 試作部環境管理統括者（試作部長） 工場環境管理部署（試作部 工場管理室） 各部署環境管理責任者 各部署環境管理推進者 刈谷ものづくりセンター 刈谷ものづくりセンター環境委員会委員長 （PE・環境推進部長） 刈谷ものづくりセンター環境委員会事務局 （PE・環境推進部） 刈谷ものづくりセンター廃棄物管理部署 （生技統括部） 各部署環境管理責任者 各部署環境管理推進者			
産業廃棄物	1 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙参照
		排出量	別紙参照
		（これまでに実施した取組） 汚泥：排水処理場から出るスラリーを脱水、脱水後の汚泥を西尾工場にて焼却し減量化 廃プラ・金属屑：分別徹底による有価化	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出 量	別紙参照	
	(今後実施する予定の取組) 汚泥：スラリーの脱水、社内焼却を継続 廃プラ・金属屑：分別徹底を継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分解可能な混合物を分解・分別している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックについて成分別の分別を強化。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙参照	
	(これまでに実施した取組) 再生利用実績は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙参照	
	(今後実施する予定の取組) 現時点で再生利用の計画は無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙参照	

		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙参照	
		(これまでに実施した取組) 排水処理場から出るスラリーを脱水後、社内焼却炉（西尾工場）にて焼却処理し減量化。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙参照	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙参照	
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙参照	
		(今後実施する予定の取組) 排水処理場からのスラリーの脱水・社内焼却による減量を継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙参照		
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分実績は無し。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙参照		
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分の計画は無し。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（ 令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託 量	別紙参照	
	優良認定処理業者への 処理委託 量	別紙参照	
	再生利用業者への 処理委託 量	別紙参照	
	認定熱回収業者への 処理委託 量	別紙参照	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理委託 量	別紙参照	
	（これまでに実施した取組） 分別を徹底し、再生利用業者への委託を推進。		

（第 5 面）

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託 量	別紙参照	
	優良認定処理業者への処 理委託 量	別紙参照	
	再生利用業者への 処理委託 量	別紙参照	
	認定熱回収業者への 処理委託 量	別紙参照	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	別紙参照	

		(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物業者の現地確認により適正処理の継続確認。 分別、社内解体拡大にて、リサイクルの質向上。
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

単位:t

産業廃棄物の種類(名称)		汚泥 (主灰)	汚泥 (飛灰)	汚泥 (その他)	ガラス屑・コンクリート屑 及び陶磁器くず	金属くず	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃油 (主灰)	廃油 (飛灰)	廃油 (その他)	廃酸	木くず	がれき類	合計
◇産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	前年度実績	666.260	100.440	28.680	2.280	7.230	0.860	57.780	6.690	1.010	21.520	0.090	23.590	14.480	930.9
	目標	816.473	130.710	10.049	4.821	13.820	0.277	89.902	8.078	1.297	32.858	0.010	29.908	0.000	1,138.2
◇自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	前年度実績	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
	目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
◇自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項															
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
	目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	前年度実績	659.250	99.380	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6.510	0.980	0.000	0.000	0.000	0.000	766.1
	目標	652.658	98.386	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6.445	0.970	0.000	0.000	0.000	0.000	758.5
◇自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
	目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0
◇産業廃棄物の処理の委託に関する事項															
全処理委託量	前年度実績	7.010	1.060	28.680	2.280	7.230	0.860	57.780	0.180	0.030	21.520	0.090	23.590	14.480	164.8
	目標	6.940	1.049	28.393	2.257	7.158	0.851	57.202	0.178	0.030	21.305	0.089	23.354	14.335	163.1
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0.000	1.060	28.680	1.740	1.580	0.860	2.280	0.000	0.030	21.520	0.090	23.590	14.480	95.9
	目標	0.000	1.049	28.393	1.723	1.564	0.851	2.257	0.000	0.030	21.305	0.089	23.354	14.335	95.0
再生利用業者への処理委託量	前年度実績	7.010	1.060	28.680	1.870	7.040	0.840	57.780	0.180	0.030	20.690	0.090	23.590	0.000	148.9
	目標	6.940	1.049	28.393	1.851	6.970	0.832	57.202	0.178	0.030	20.483	0.089	23.354	0.000	147.4
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.830	0.000	0.000	0.000	0.8
	目標	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.822	0.000	0.000	0.000	0.8
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.000	0.000	28.680	1.060	0.000	0.530	0.520	0.000	0.000	2.540	0.090	0.000	0.000	33.4
	目標	0.000	0.000	28.393	1.049	0.000	0.525	0.515	0.000	0.000	2.515	0.089	0.000	0.000	33.1